

第15期

報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

特種東海製紙株式会社
TOKUSHU TOKAI PAPER CO.,LTD.



証券コード 3708

第5次中期経営計画の目標達成に向けて



代表取締役社長
松田 裕司

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに対しまして格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第15期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の報告書をお届け申し上げます。

当期は、新型コロナウイルスの影響が継続し、さらには安定基調であった原燃料価格もウクライナ情勢等により年度末近くには上昇基調となり厳しさを増す中、当社グループにおいては、原価低減や固定費削減など各工場での競争力強化を図り、また、営業部門においても、営業施策に注力することで営業利益において増益を計上しました。

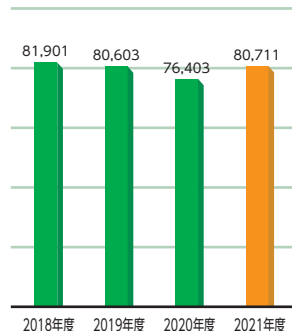
第16期は第5次中期経営計画の最終年度を迎えますが、世界情勢の悪化や急激な為替変動による原燃料価格や物価上昇が予想を上回り、一層の経営環境圧迫が想定されます。そのような中、当社グループではさらなる基盤事業の強化と成長施策の実行を推進してまいります。さらに合成繊維シート事業、フィブリック（リチウムイオン二次電池向けセパレータ）事業、パッケージ事業などにおける新商品販売にも注力し、目標達成を目指します。

当社グループはユニークで存在感のある企業集団として、「いままでもSDGs、これからもSDGs」をキーワードとして、これからも環境に配慮した製品開発を進めるとともに、南アルプスをはじめとした社有林の有効活用や廃棄物の有効活用の促進などを通して持続可能な社会への実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

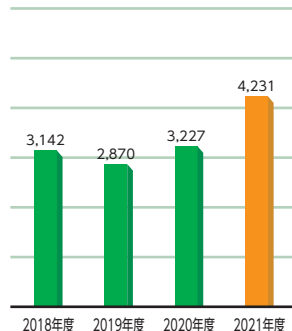
売上高

（単位：百万円）



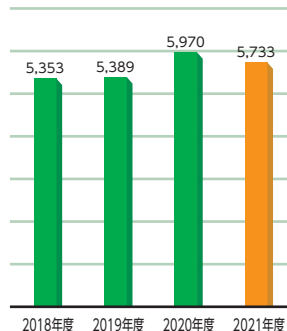
営業利益

（単位：百万円）



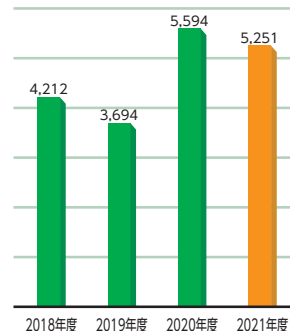
経常利益

（単位：百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益

（単位：百万円）



株主還元

資本政策について

株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、「配当」「自社株買い」「株主優待」について積極的かつ安定的に実施しております。

当期は、株式の持ち合いによる政策保有株式の縮減を段階的に進めている中、当社株式の株主層の拡大と株式流動性の向上を目的とした株式の売出し及び資本効率向上、株主還元充実を図ることなどを目的として自社株買いを実施しました。配当と自社株買いを合わせた総還元性向は、今期含む5年間の平均で78%を見込んでおります。

配当につきましては、将来の事業環境を見据えた財務基盤の強化、自己株式取得による利益還元等を総合的に勘案したうえで、配当性向30%を目途とした安定配当に努めることを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、当社第15回定時株主総会において1株当たり70円をお支払いすることについて決議されました。既に実施済みの中間配当50円と合わせ、1株当たりの年間配当額は120円となります。

今後も総還元性向も意識した資本政策を実施し、株主の皆様のご期待に応えるよう努めてまいります。

直近5年間の資本政策についての推移

	2018年 3月	2019年 3月	2020年 3月	2021年 3月	2022年 3月
1株あたりの 当期純利益 (円)	153.91	303.55	266.07	416.30	396.08
1株あたりの 配当額 (円)	50.00	75.00	75.00	100.00	120.00
配当性向	32.5%	24.7%	28.2%	24.0%	30.3%
自己株式 取得額	5年累計 = 10,604.4百万円				
総還元性向	5年平均値 = 78%				

株主優待について

当社は日頃の株主の皆様のご格別なご高配に感謝するとともに、株主優待を通じて個人投資家を中心に株主層の拡大を図りつつ、より多くの株主様に当社ならびに当社グループへのご理解を深めていただくことを目的に株主優待制度を導入しております。

当社グループ製品をご愛顧いただけますよう、個人株主様を中心にご家庭などでご使用いただける優待品をご用意いたしました。

衛生意識の向上により注目されているペーパータオル『タウパー・ポップペーパー』の他、再生紙を使用し環境にやさしい『トイレットペーパー』、さらに使い心地の良い『高級トイレットペーパー』の中から保有株式数と保有期間に応じてご希望のものをお選びいただけます。

保有期間3年未満かつ保有株式数300株未満の株主様には図書カード1,000円をお送りしております。

所有株数と保有年数に応じた優待品

保有期間	保有株式数	優待内容
3年未満	300株未満	図書カード1,000円
	300株以上 (選択制)	①タウパー・ポップペーパー (Mサイズ 200枚×12個) ②トイレットペーパー 12ロール (107mm×25m ダブル) ×8パック
3年以上	300株未満 (選択制)	①タウパー・ポップペーパー (Mサイズ 200枚×12個) ②トイレットペーパー 12ロール (107mm×25m ダブル) ×8パック
	300株以上 (選択制)	①タウパー・ポップペーパー (Mサイズ 200枚×18個) ②高級トイレットペーパー 12ロール (107mm×50m ダブル) ×8パック

※保有期間と保有株式数は、当社株主名簿が基準となります。

タウパー・ポップペーパー
(㈱トラライフ製品)



トイレットペーパー
12ロール×8パック
(特種東海エコロジー(株)製品)



高級トイレットペーパー
12ロール×8パック
(特種東海エコロジー(株)製品)



中期経営計画の進捗について

当社グループでは、第5次中計最終年度として外部環境の影響により大変厳しい経営環境の長期化が予想される中、製紙3事業においてはこれまで以上に各工場の競争力と他社との提携シナジーの追求を行い、成長戦略として新たな事業分野においては新商品の開発と積極的な拡販を目指しております。このほか施策の徹底的な深掘りや工夫を行い目標の達成を目指します。

▶ 新事業・新商品

● フィブリック（リチウムイオン二次電池向けセパレータ）事業

セルロースナノファイバー（CNF）を使用し、加工性・耐熱性・浸透性に優れた新商品「フィブリック」の生産を開始し、今期中の販売開始を見込んでおります。CNFを使用した当社独自技術としてセパレータ以外の用途での検討も行い事業拡大を目指します。

● パッケージ事業

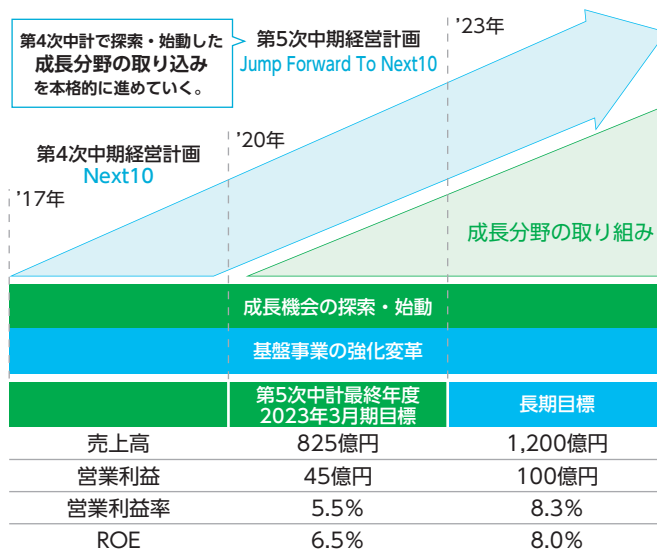
環境・衛生をキーワードに当社がこれまで培ってきた紙への意匠性、機能性を持たせ高付加価値を図る技術を用いた環境配慮型パッケージ素材の開発・拡販を進めています。

エンボス加工で見る位置により模様が変わる「TT-SPARKLE」の高級アクセサリ台紙用途での採用、プラスチックの代替として食品パッケージとして利用可能な「TT-BARRIER DELI」の発売などTT-PACKAGEシリーズの積極展開を図っています。

その他、紙の緩衝材「ペーパークッションバッグ」の販売開始やパルプモールドの拡販を進め、プラスチックの代替など環境配慮に貢献可能な素材の提案に注力しています。

● 合成繊維シート事業

当社グループで培ってきた非セルロース系繊維の抄造加工技術を使用した、高い引張強度、絶縁性を持ち、難燃性、耐熱性に優れる特性を持つ「TT-TOKRON」の拡販を進めています。施工性やリフォーム性に優れたフリース壁紙も今期の販売を予定しており、合成繊維シート事業での採用実績の積み上げを目指しています。



TT-PACKAGE、モールド使用例



TT-TOKRON使用例

サステナビリティへの取り組み

いままでもSDGs、これからもSDGs

当社グループでは、サステナビリティに対する取り組み内容や優先度を明確化するため、マテリアリティ（当社グループの重要課題）を特定しました。

これまで製紙3事業を中心に、再利用可能な環境面で優れたバイオマス素材である「紙」を扱い、様々な素材の紙化・バイオマス化を図ってきました。

これからも環境に配慮した製品開発を進めるとともに、南アルプスをはじめとした社有林の有効活用や廃棄物の有効活用の促進などを通して持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

特種東海製紙グループのマテリアリティ

地球環境との共生

関連するSDGs

- 1 気候変動問題への対応
- 2 社有林の活用と生物多様性保全への貢献
- 3 持続可能なサプライチェーンの維持
- 4 資源の有効活用と環境負荷の低減
- 5 安定した製品提供と新製品の開発



地域・社会との共生

関連するSDGs

- 6 地域・社会への貢献
- 7 安心安全に働ける職場環境づくり

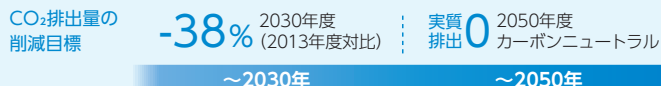


カーボンニュートラルに向けたロードマップ

当社グループは、気候変動問題に対する取り組みを強く推進するため、2050年カーボンニュートラル実現を目標に見据えたロードマップを策定しました。

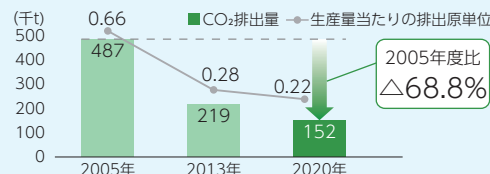
これまでもバイオマスボイラの早期導入など化石燃料からの転換を推進し、循環型燃料である黒液、木質チップ、RPF等を活用しCO₂排出削減の取り組みを進めてきました。

今後も省エネルギー化を継続するとともに、再生可能エネルギーの利用を拡大することで、2030年度には2013年度比▲38%（2005年度比では72.8%に相当）、2050年度にはCO₂排出量実質ゼロの達成を目指します。



■ CO₂排出量（SCOPE1+2）の推移

恒常的な生産活動の効率化に加え、設備導入によるエネルギー構成の改善を実施してきたことで、当社グループのうち、主要な生産活動を行っている4社における2020年度のCO₂排出量は、2013年度比で30.6%、2005年度比で68.8%の削減となりました。



※主要な生産4社（特種東海製紙、新東海製紙、トライフ、特種東海エコロジー）におけるCO₂排出量を算定しています。

当社ホームページに統合報告書2021を掲載しましたのでぜひご覧ください。

幅広いステークホルダーの皆様へ、当社グループが社会と環境に貢献する事業活動を紹介する統合報告書を発行しています。今回ご紹介した長期ビジョン、中期経営計画やサステナビリティへの取り組みなどに加え、企業価値向上に向けた戦略なども掲載していますので、ぜひご覧ください。

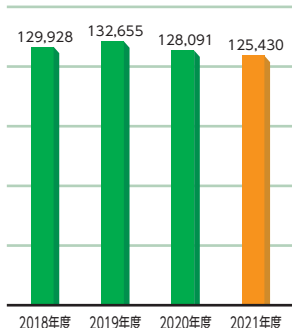
<https://www.tt-paper.co.jp/ir/>



連結財務ハイライト

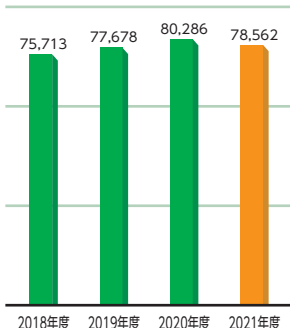
総資産

(単位: 百万円)



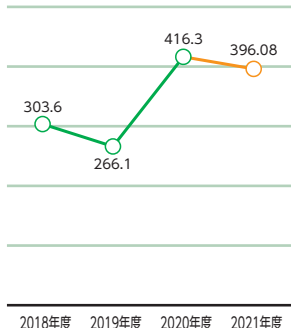
純資産

(単位: 百万円)



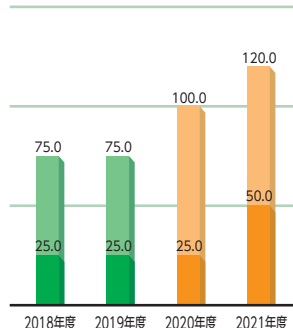
1株当たり当期純利益

(単位: 円)



配当金の推移

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 円)



セグメントの概要

産業素材事業

46.0%
前期比76.0%

- 段ボール原紙は、日本東海インダストリアルペーパーサプライ(株)を通じて国内外向け販売が堅調に推移。クラフト紙についても、国内向け販売が順調に推移。

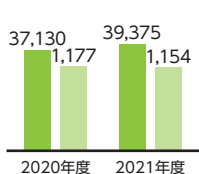
特殊素材事業

24.8%
前期比713.5%

- 特殊印刷用紙では、高級印刷用紙の需要回復は厳しい状況。ファンシーペーパーは書籍・パッケージ用途に底堅い需要があり堅調に推移。
- 特殊機能紙は、情報用紙の売上は前期を下回るが、海外向け一部製品の需要と新商品の高耐熱性絶縁紙の顧客開拓を進め売上は前期を上回る。
- 原価面については、パルプ・薬品等の購入価格上昇の影響を受けたが、財務体質強化に伴う一層の効率化と徹底した原価低減に取り組み、利益は前期を大幅に上回る。

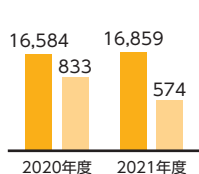
売上高/営業利益

(単位: 百万円)



売上高/営業利益

(単位: 百万円)



生活商品事業

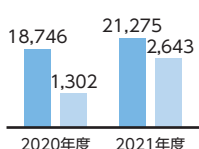
19.7%
前期比71.7%

- ペーパータオルの需要は高水準で推移するも、各社の増産や新規参入により供給量が増加し、販売数量は前期を下回る。
- トイレトペーパーは、委託生産分の販売数量が前期を下回るものの、長尺品の拡販効果等によりほぼ横ばいで推移。
- フミネート等の加工製品は、需要が増加傾向にあることに加え、新規受注活動の成果が表れて販売数量は前期を大幅に上回る。

売上高

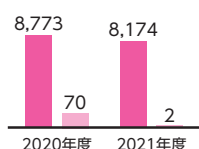
売上高/営業利益

(単位: 百万円)



売上高/営業利益

(単位: 百万円)



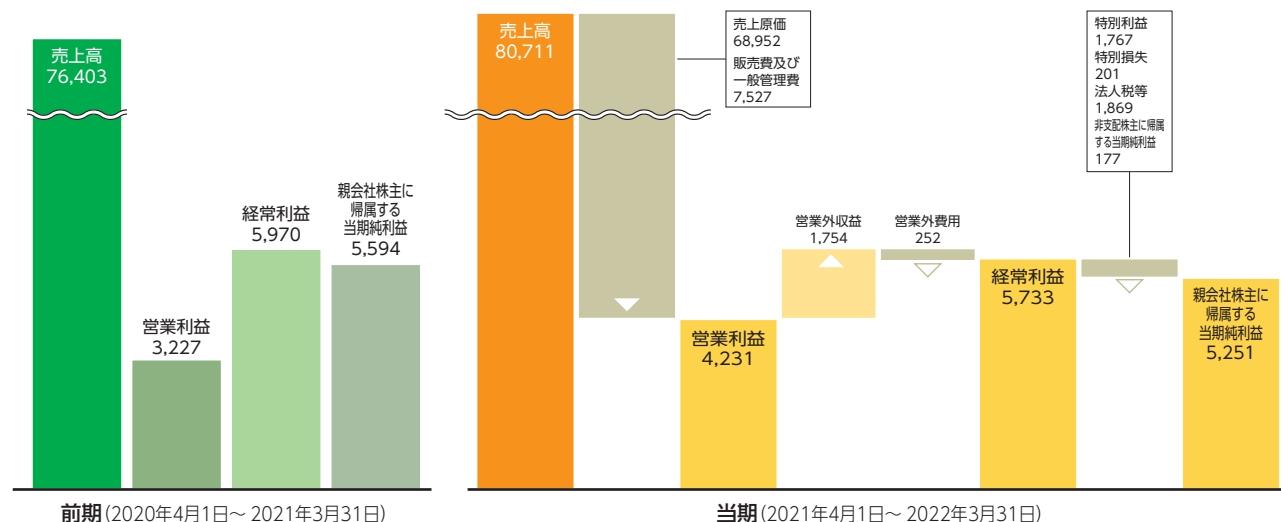
環境関連事業

9.5%
前期比76.8%

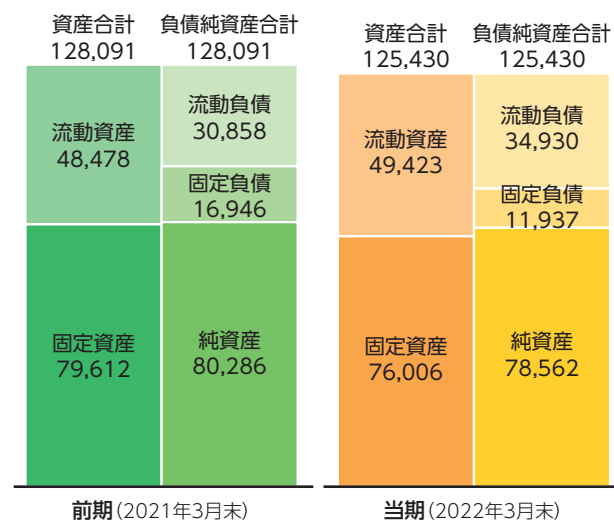
- 自然環境活用分野は、土木・建築設備工事の完成高が前期を下回ったことなどにより減収。利益面でも、2020年11月に製造開始したウイスキー等の先行費用が大幅増加もあり前期比で減益。資源再活用分野は、リサイクルビジネスの強化を目的に子会社化した(株)駿河サービス工業が堅調に推移したことに加えて原価低減等により増益。

連結財務諸表

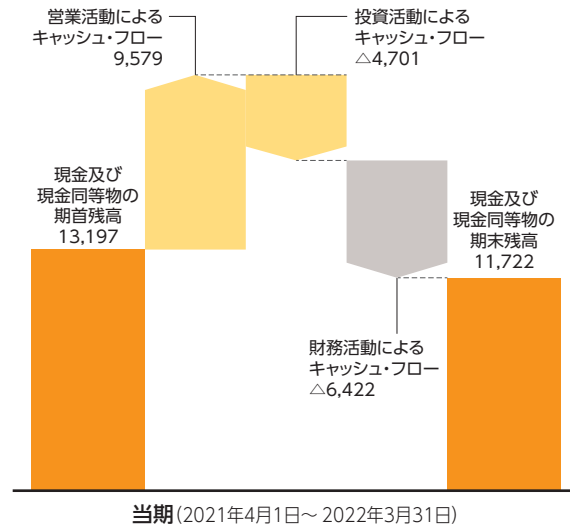
連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



会社概要 (2022年6月24日現在)

商号	特種東海製紙株式会社
英文名	Tokushu Tokai Paper Co., Ltd.
事業内容	紙類等の製造・加工・販売および子会社の経営管理等
資本金	11,485,200,000円
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（コード：3708）
設立年月日	2007年4月2日
本店	静岡県島田市向島町4379番地
本社	東京都中央区八重洲2丁目4番地1号
事業所	三島工場、岐阜工場

役員 (2022年6月24日現在)

代表取締役社長	社長執行役員	松田 裕司
取締役	常務執行役員	渡邊 克宏
取締役	常務執行役員	佐野 倫明
取締役	執行役員	毛利 豊寿
取締役	執行役員	大沼 裕之
取締役	(社外)	金澤 恭子
取締役	(社外)	磯貝 明
[新任] 取締役	(社外)	長坂 隆
[新任] 取締役	(社外)	石川 雄三
常勤監査役		河合 稔
監査役	(社外)	上田 廣美
[新任] 監査役	(社外)	檜垣 直人

グループ企業 (2022年6月24日現在)

会社名	主な事業
新東海製紙株式会社	紙・パルプの製造・販売
特種東海マテリアルズ株式会社	製紙原料の仕入・販売等
株式会社特種東海フォレスト	土木・建築・造園・山林・観光事業
株式会社レックス	廃棄物の収集・運搬、加工処理・売買
静岡ロジスティクス株式会社	運送業、倉庫業、リース業、酒類販売
株式会社TTトレーディング	特殊機能紙・保護紙・画材用紙・エレクトロニクス関連用紙、加工品等の販売
株式会社トライフ	ペーパータオル・ラミネート製品の製造・販売
特種東海エコロジー株式会社	家庭紙（トイレットペーパー）の製造・販売
新東海ロジスティクス株式会社	構内作業業務・運送業
株式会社駿河サービス工業	廃棄物の収集・運搬・処分
十山株式会社	社有林管理、酒類等の製造・加工・販売・輸出入、娯楽・宿泊等の施設運営・経営
株式会社モルディア	パルプモウルトの製造・販売

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	6月 定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 https://www.tr.mufg.jp/daikou/

（上記は、特別口座に記録された株式に関する各種お手続き先ならびに郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金および株式事務に関する一般事項のご照会先となっております。ご登録住所等の変更手続きをされる場合は、お取引口座のある証券会社等へお問い合わせください。）



当社HPも
ご覧ください。

